



本日の卓話 10月21日(火)

「地域におけるクラブの役割と創造する未来」

株式会社アルテリーヴォ和歌山
GM統括本部長
大 北 啓 介 さん



次週の卓話 10月28日(火)

「新会員卓話」

岩 元 豊 明 会員
吉 田 正 夫 会員



先週の例会記録

- ❖ロータリーソング 和歌山ロータリー
- ❖ビ ジ タ ー 紹 介 ゲスト 2025-26年度青少年育成奨励金対象者
鵜本 翠さん、宮崎大輔さん
- ❖出 席 報 告 (会員数78名、免除会員4名)
本日出席(10/14) 54名 71.05%
- ❖メ イ キ ャ ッ プ なし
- ❖S. A. A. 森口浩紀さん、松尾泰明さん、垣本英作さん、
(ニ コ ニ コ 箱) 福辺昌紀さん、豊田英三さん、山口晃弘さん、
河村秀樹さん、吉田正夫さん、紀 俊崇さん、
岩西智宏さん、森永暁和さん、羽原俊哉さん

本日合計 ￥40,000 今年度累計額 ￥779,465

- (財団寄付献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん、福辺昌紀さん、豊田英三さん、山口晃弘さん
- (米山奨学会献金箱) 松尾泰明さん、垣本英作さん、福辺昌紀さん、豊田英三さん、山口晃弘さん、河村秀樹さん
- (青少年育成奨励金) 松尾泰明さん、垣本英作さん、福辺昌紀さん、豊田英三さん、山口晃弘さん、野井和重さん

10月は 経済と地域社会の発展月間 米 山 月 間



誕生日お祝い



会長あいさつ

会 長 松 尾 泰 明



昨日、関西万博が閉幕致しました。もう何回も行ったよ！ 1回しか行けてない！ 1回も行っていない！ いろいろな方いらっしゃるでしょうが、当初の盛り上がりの低さは何だったのかというくらい、後半は盛り上がったようであります。

そんな万博にも大いに関わりがあったことでしょう。本日の卓話スピーカー森口さんは2013年3月～2016年1月までの約3年間、当クラブに在籍されておられました。現在の吉田正夫会員の4～5代前の支店長という事になりましたか！ ご無沙汰しております。本日はわざわざ時間を割いてお越しいただきました。

森口さんとは印象的な思い出がありまして、ちょうどその当時、子供もまだまだ小さい頃、中学生ぐらいでしたので家族旅行を計画しました。家族会議をして折角家族で行くので中々行かないようなところという事で、ハワイ諸島の一番大きな島で、活火山や4000m級の山々があって、自然を満喫できるようにとホノルルがあるオアフ島とは少し趣の違うハワイ島に決めて、勿論JTBさんにお手配いただきました。

現地では、早速1日かけて全島1周するオプションツアーに参加しました。休まず車で走って5～6時間かかる、そんな広い島ですが、その道中マイクロバスのエンジントラブルで足止めを食らい、ドライブインで代わりのバスが来るまでの間、仕方なく周辺を散策しながら時間潰しをしていると、遠くの方から見たことのある方がこちらに向

かって歩いてくるわけです。その方が森口さん。

流石はJTBさん対応が速いな！ 支店長自らこんなに速く……そんな訳ないな！ お互い目が合ってキョートンとなって、あまりの出来事にどんな会話をしたのかほとんど覚えてないのですが、日本から6,000kmほども離れた場所で思ってもいないところで知り合いに会いますと、脳みその処理が追い付かない、そんな感じでありました。

昔の仲間に会えるのは大変うれしいですね！

会 長 報 告

米山学友会とは、奨学期間を終了した元米山奨学生と現役奨学生によって組織されている会で、日本国内に33団体、地区が34地区ありますからほぼ同じような数だけあります。海外には10団体あります。

その学友中心で多国籍の会員で構成されるロータリークラブがあります。

衛星クラブ2つを含めて計8クラブ。

東京紀尾井町のホテルニューオータニが例会場の東京米山友愛RCは会員の話す言語は10か国語以上であります、例会は日本語で進行されるそうです。

特徴を生かし、国際奉仕活動や海外ボランティア団体と協力活動を展開したりなさっているそうです。

元々は奨学生として来日留学した方々が、日本に残り世界を繋ぐ活動をされているということは私も少し前まで全く知りませんでした。

皆さんもできるだけ機会を作って、まずは毎月メールで配信される「ハイライトよねやま」をじっくり読んでみてください。2分もあれば読み終わると思います。

幹 事 報 告

- 例会変更のお知らせ
(和歌山城南RC、和歌山アゼリアRC)
- 第3回指名委員会開催のご案内
例会終了後13:40〜 『翡翠』
- 回覧物 (あさひ便り10月号)

委 員 会 報 告



2025-26年度 青少年育成奨励金 上半期報告 及び 奨励金授与

担当：青少年育成奨励特別委員会
野井和重委員長



うもと みどり
鵜本 翠さん
県立和歌山北高等学校2年
フェンシング



みや だいき
宮崎 大輔さん
県立桐蔭高等学校2年
学業・創作活動



環境保全・社会奉仕委員会
山口 晃 弘 委員長
市堀川スタディクルーズ船上視察ご説明



内川をきれいにする会
会長 野井和重会員



和歌川河川公園指定管理者
代表 村田弘至会員



親睦・ソング委員会
濱田 勝 委員長
さんか会のご案内

卓 話

「地域創生に繋がる 観光産業の可能性について」



株式会社JTB 取締役 常務執行役員
エリアソリューション事業部長
森口 浩紀さん

コロナを経て観光産業は大きく変化し、特にデジタルの活用や体験価値の提供が注目されるようになりました。

旅行業界では従来の代理店モデルからソリューションカンパニーへと事業体を変化させています。JTBでは新たに3つの事業を定義し、その中のエリアソリューション事業では、地域において継続的な交流を生む仕組みづくりに取り組んでいます。

関西・和歌山県では、大阪・関西万博により大阪だけでなく和歌山県でも客室稼働率は上昇し、2030年大阪IR開業に向けては、関西圏における観光客の更なる増加が見込まれます。2000年以降、和歌山県の宿泊客数は減少傾向となっていますが、今後は国策とも相まって訪日外国人需要の獲得が地域経済活性化の要諦となると考えられます。

訪日外国人を含む観光客の増加により良い影響はありつつ、同時に様々な課題も発生します。JTBではこのような観光関連課題に対する様々な取り組みを行っており、例えばオーバーツーリズム対策として、観光地での待ち時間削減や、観光客の分散化につながる取り組みを行っています。

また、人材不足という課題に対しては、瀬戸内海の小豆島において、人手に頼らないシェアサイクル事業や自動運転の実証実験等に取り組んでいます。さらに多くの観光施設が老朽化する中で、観光立国ファンドへの出資を通じて、施設のリノベーションやバリューアップの取り組みを行っています。

観光産業は経済波及効果の高い産業であり、JTBはこの観光の力を活かしながら、地元事業者様と共に地方創生に貢献をしております。



(左から)松尾会長、卓話ゲスト・森口さん、紹介者・豊田会員